

令和元年度

動物実験に関する自己点検・評価報告書

国立大学法人京都大学

2020年7月

I. 規程及び体制等の整備状況

1. 機関内規程

<p>1) 評価結果</p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合する機関内規程を定めている。</li> <li><input type="checkbox"/> 機関内規程を定めているが、一部に改善すべき点がある。</li> <li><input type="checkbox"/> 機関内規程を定めていない。</li> </ul>
<p>2) 自己点検の対象とした資料</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・京都大学における動物実験の実施に関する規程（平成19年2月5日達示第25号制定）</li> </ul>
<p>3) 評価結果の判断理由（改善すべき点があれば、明記する。）</p> <p>環境省の「実験動物の飼養及び保管並びに苦痛の軽減に関する基準」（以下「飼養保管基準」という。）と文部科学省の「研究機関等における動物実験等の実施に関する基本指針」（以下「基本指針」という。）に則って、京都大学における動物実験の実施に関する規程（以下「学内規程」という。）が定められている。</p>
<p>4) 改善の方針、達成予定時期</p> <p>学内規程上に定めていなかった事項について、明記することを検討し、令和2年4月1日施行で改正を行った。</p> <p>主な改正点は以下のとおり。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 動物実験委員会の委員構成、実験動物の導入等に関し必要な事項を定めた。</li> <li>2. 部局における動物実験の実施に関して行う自己点検・評価の結果について、学外の者による検証を受けることを明記した。</li> </ol>

2. 動物実験委員会

<p>1) 評価結果</p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合する動物実験委員会を設置している。</li> <li><input type="checkbox"/> 動物実験委員会を設置しているが、一部に改善すべき点がある。</li> <li><input type="checkbox"/> 動物実験委員会を設置していない。</li> </ul>
<p>2) 自己点検の対象とした資料</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・京都大学における動物実験の実施に関する規程（平成19年2月5日達示第25号制定）</li> <li>・部局動物実験の実施に関する要項、内規等</li> <li>・全学動物実験委員会名簿</li> <li>・部局動物実験委員会名簿</li> </ul>
<p>3) 評価結果の判断理由（改善すべき点があれば、明記する。）</p> <p>飼養保管基準及び基本指針に適合した動物実験委員会が置かれている。</p>
<p>4) 改善の方針、達成予定時期</p> <p>該当せず。</p>

### 3. 動物実験の実施体制

1) 評価結果 <input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合し、動物実験の実施体制を定めている。 <input type="checkbox"/> 動物実験の実施体制を定めているが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 動物実験の実施体制を定めていない。
2) 自己点検の対象とした資料 ・京都大学における動物実験の実施に関する規程 ・部局動物実験の実施に関する要項、内規等
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点があれば、明記する。） 動物実験の実施に必要な動物実験規程等及び各種申請書様式等が適正に定められている。
4) 改善の方針、達成予定時期 該当せず。

### 4. 安全管理に注意を要する動物実験の実施体制

1) 評価結果 <input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合し、安全管理に注意を要する動物実験の実施体制を定めている。 <input type="checkbox"/> 安全管理に注意を要する動物実験の実施体制を定めているが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 安全管理に注意を要する動物実験の実施体制を定めていない。 <input type="checkbox"/> 該当する動物実験を行っていないので、実施体制を定めていない。
2) 自己点検の対象とした資料 ・京都大学における動物実験の実施に関する規程 ・部局動物実験の実施に関する要項、内規等 ・組換えDNA実験安全管理規程 ・組換えDNA実験安全管理規程施行規則 ・京都大学化学物質管理規程 ・京都大学における放射性同位元素等の規制に関する規程 ・京都大学における病原体等の管理に関する規程
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点があれば、明記する。） 安全管理に注意を要する動物実験の実施に関連する様式や手続きを整備している。
4) 改善の方針、達成予定時期 該当せず。

5. 実験動物の飼養保管の体制

<p>1) 評価結果</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 基本指針や飼養保管基準に適合し、適正な飼養保管の体制である。</p> <p><input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。</p> <p><input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。</p>
<p>2) 自己点検の対象とした資料</p> <p>・京都大学における動物実験の実施に関する規程</p> <p>・部局動物実験の実施に関する要項、内規、基準、マニュアル等</p>
<p>3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。）</p> <p>飼養保管施設等の設置と廃止に関する要件が規程等に定められており、確認に必要な各種書式等も適正に定められている。また、飼養保管施設には標準作業手順書として部局動物実験の実施に関する要項、内規、基準、マニュアル等が定められている。</p>
<p>4) 改善の方針、達成予定時期</p> <p>該当せず。</p>

6. その他（動物実験の実施体制において、特記すべき取り組み及びその点検・評価結果）

<p>事故等の報告のあった部局では、再発防止の対応を定めた。また、学内規程及び飼養保管基準及び基本指針に適合した実施体制であるか相互に点検・改善することを目的に、他部局の動物実験委員会委員が調査員となり、今年度は3部局の現地調査を実施した。</p>
------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

## II. 実施状況

### 1. 動物実験委員会

1) 評価結果 <input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合し、適正に機能している。 <input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料 ・ 京都大学動物実験委員会議事要旨（令和元年7月30日） ・ 京都大学動物実験委員会議事要旨（令和2年2月25日）
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。） 京都大学における動物実験の実施に関する規程等に基づいて、学長の諮問機関として委員会を開催し、関連事項に関して審議した。
4) 改善の方針、達成予定時期 該当せず。

### 2. 動物実験の実施状況

1) 評価結果 <input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合し、適正に動物実験を実施している。 <input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料 ・ 動物実験計画承認報告書 ・ 動物実験結果報告書 ・ 自己点検報告書（動物実験実施状況） ・ 事故報告書
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。） 動物実験計画書の立案、審査、承認、結果報告が適正に実施されている。
4) 改善の方針、達成予定時期 該当せず。

3. 安全管理に注意を要する動物実験の実施状況

<p>1) 評価結果</p> <p><input type="checkbox"/> 基本指針に適合し、当該実験を適正に実施している。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。</p> <p><input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。</p> <p><input type="checkbox"/> 該当する動物実験を行っていない。</p>
<p>2) 自己点検の対象とした資料</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・動物実験計画承認報告書</li> <li>・動物実験結果報告書</li> <li>・自己点検報告書（動物実験実施状況）</li> </ul>
<p>3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。）</p> <p>法令に適合した動物実験実施状況であることを確認した。また、以下の9件の事故等の報告があったため。</p> <p>文学研究科、医学研究科、農学研究科、霊長類研究所で動物実験による外傷2件、咬傷5件、咬傷とそれによるアレルギー1件、針刺し1件。</p>
<p>4) 改善の方針、達成予定時期</p> <p>各部局にて制定されている行動指針やマニュアル等の遵守を徹底する。</p>

4. 実験動物の飼養保管状況

<p>1) 評価結果</p> <p><input type="checkbox"/> 基本指針や飼養保管基準に適合し、適正に実施している。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。</p> <p><input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。</p>
<p>2) 自己点検の対象とした資料</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自己点検報告書（飼養保管施設管理状況）</li> <li>・自己点検報告書（実験室管理状況）</li> </ul>
<p>3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。）</p> <p>複合原子力科学研究所でマウス（遺伝子組換えではない）の逸走1件があったため。</p>
<p>4) 改善の方針、達成予定時期</p> <p>各部局にて制定されている行動指針やマニュアル等の遵守を徹底する。逸走防止策として、逸走防止装置について見直し、強化を図った。</p>

5. 施設等の維持管理の状況

<p>1) 評価結果</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 基本指針や飼養保管基準に適合し、適正に維持管理している。</p> <p><input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。</p> <p><input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。</p>
<p>2) 自己点検の対象とした資料</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・飼養保管施設設置承認報告書</li> <li>・実験室設置承認報告書</li> <li>・自己点検報告書（飼養保管施設管理状況）</li> <li>・自己点検報告書（実験室管理状況）</li> </ul>
<p>3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。）</p> <p>施設の設置時に規程が求める設置基準を満たしていることを委員会が確認しており、自己点検報告書（飼養保管施設管理状況、実験室管理状況）の自己点検報告書の提出によって、適正に維持管理されていることを把握している。</p>
<p>4) 改善の方針、達成予定時期</p> <p>該当せず。</p>

6. 教育訓練の実施状況

<p>1) 評価結果</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 基本指針や飼養保管基準に適合し、適正に実施している。</p> <p><input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。</p> <p><input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。</p>
<p>2) 自己点検の対象とした資料</p> <p>京都大学動物実験教育訓練 e-Learning 受講履歴          京都大学動物実験教育訓練 e-Learning 受講修了証          令和元年度京都大学実験動物管理セミナー受講履歴          京都大学における動物実験教育訓練実施状況（令和元年度）          （e-Learning受講者数 <u>967</u> 人、それに加え霊長類研究所では対面による講習会を <u>25</u> 回開催。          別紙1のとおり。</p>
<p>3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。）</p> <p>教育訓練の実施記録等によって基本指針に則した教育訓練が実施されていることを確認した。          また、実験動物管理者に日本実験動物学会の実験動物管理者等研修会受講を推奨した。また大学の京都大学実験動物管理セミナー受講を開催し、専門情報修得の機会を設けた。</p>
<p>4) 改善の方針、達成予定時期</p> <p>該当せず。</p>

7. 自己点検・評価、情報公開

<p>1) 評価結果</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 基本指針や飼養保管基準に適合し、適正に実施している。</p> <p><input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。</p> <p><input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。</p>
<p>2) 自己点検の対象とした資料</p> <p>・京都大学動物実験に関する自己点検・評価報告書、動物実験に関する検証結果報告書(平成 26 年 1 月)、「動物実験に関する情報公開」のホームページ。</p> <p>(<a href="http://www.kyoto-u.ac.jp/ja/research/rule/ethic/arcku/dhokokusyo">http://www.kyoto-u.ac.jp/ja/research/rule/ethic/arcku/dhokokusyo</a>)</p>
<p>3) 評価結果の判断理由 (改善すべき点や問題があれば、明記する。)</p> <p>大学のホームページに自己点検・評価報告書をはじめとして、京都大学における動物実験に関する情報を公開している。</p>
<p>4) 改善の方針、達成予定時期</p> <p>該当せず。</p>

8. その他

(動物実験の実施状況において、機関特有の点検・評価事項及びその結果)

<p>1) 京都大学における第6条第1号、第2号に掲げる動物実験委員会委員の構成</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・第6条第1号に掲げる委員：教授<u>13</u>名、准教授<u>5</u>名</li><li>・第6条第2号に掲げる委員：教授<u>1</u>名</li></ul> <p>別紙2のとおり。</p> <p>2) 京都大学における第6条第4号に掲げる動物実験委員会委員の構成</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・動物実験に関して優れた識見を有する者：教授<u>10</u>名、准教授<u>5</u>名</li><li>・実験動物に関して優れた識見を有する者：教授<u>3</u>名</li><li>・その他学識経験を有する者：教授<u>1</u>名</li></ul> <p>別紙2 (役割欄) のとおり。</p> <p>3) 部局動物実験委員会の構成 (全部局の合計数)</p> <p>京都大学における動物実験の実施に関する規程第9条による部局動物実験委員会 教授<u>64</u>名、特定教授<u>1</u>名、准教授<u>49</u>名、特定准教授<u>1</u>名、講師<u>12</u>名、助教 <u>25</u>名 その他<u>7</u>名 (研究員<u>1</u>名、技術職員<u>1</u>名、事務職員<u>3</u>名、学外<u>2</u>名)</p> <p>4) 京都大学における動物実験の実施における自己点検・評価に関する報告書の集計について 別紙3のとおり。</p> <p>5) 動物種ごとの飼養数・実験動物使用数の集計について 別紙4のとおり。</p>
--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------



## 動物実験教育訓練実施状況(令和元年度)

部局名	教育訓練 実施回数	参加人数 (延べ)	実施日
文学研究科		3	e-Learningによる受講
理学研究科		38	e-Learningによる受講
医学研究科		448	e-Learningによる受講
薬学研究科		91	e-Learningによる受講
工学研究科		40	e-Learningによる受講
農学研究科		57	e-Learningによる受講
人間・環境学研究科		0	e-Learningによる受講
情報学研究科		5	e-Learningによる受講
生命科学研究科		30	e-Learningによる受講
化学研究所		0	e-Learningによる受講
ウイルス・再生医科学研究所		29	e-Learningによる受講
複合原子力科学研究所		7	e-Learningによる受講
霊長類研究所	25	149	e-Learningによる受講に加え、 研修実施(※)
高等研究院		18	e-Learningによる受講
iPS細胞研究所		37	e-Learningによる受講
野生動物研究センター		3	e-Learningによる受講
環境安全保健機構 附属放射性同位元素総合センター		0	e-Learningによる受講
総合博物館		4	e-Learningによる受講
国際高等教育院		8	e-Learningによる受講
合計	25	967	

(※)4月3、4、12、15、19日、5月8、23日、6月3、20、21日、7月17、24日、8月19、26日、9月18、20日、10月8、23日、11月8、10、18日、12月10日、1月14日、2月20日、3月22日

## 京都大学動物実験委員会の構成

平成31年4月1日現在

		所 属	職 名	役割※	専門分野	備考
1	1号	文学研究科	准教授	①	実験心理学	
2	2号	法学研究科	教 授	③	基礎法学	
3	1号	理学研究科	准教授	①	動物行動学・爬虫類学・自然史学	
4	1号	医学研究科	教 授	②	実験動物学・発生工学	委員長
5	1号	薬学研究科	准教授	①	薬剤学	
6	1号	工学研究科	教 授	①	生体機能高分子	
7	1号	農学研究科	教 授	①	生殖生物学	
8	1号	人間・環境学研究科	教 授	①	運動医科学・内分泌代謝学	
9	1号	情報学研究科	准教授	①	社会情報学	
10	1号	生命科学研究科	准教授	①	細胞生物学	
11	1号	化学研究所	教 授	①	環境物質化学	
12	1号	ウイルス・再生医科学研究所	教 授	②	実験動物学、分子生物学	
13	1号	複合原子力科学研究所	教 授	①	放射線腫瘍学・腫瘍治療学	
14	1号	霊長類研究所	教 授	②	実験動物学・分子寄生虫学	副委員長
15	1号	iPS細胞研究所	教 授	①	骨・軟骨代謝学	
16	1号	野生動物研究センター	教 授	①	比較認知科学	
17	1号	環境安全保健機構 附属放射性同位元素総合センター	教 授	①	細胞生物学・生物工学・放射線安全管理学	
18	1号	総合博物館	教 授	①	動物系統分類学	
19	1号	国際高等教育院 (農学研究科併任)	教 授	①	農学・育種学	

- ※①動物実験に関して優れた識見を有する者  
 ②実験動物に関して優れた識見を有する者  
 ③その他学識経験を有する者

動物実験の実施における自己点検・評価に関する報告書集計表（令和元年度）

部局名	動物実験計画書の審査のまとめ					動物実験従事者数				飼養保管施設の設置状況	飼養保管施設から独立した実験室
	許可件数			改訂後許可件数	不許可・取下げ件数	動物実験責任者数	動物実験実施者数	飼養者	合計		
	新規	変更・継続	合計								
文学研究科	17	39	56	3	0	8	27	10	45	2	1
理学研究科	5	17	22	0	0	11	64	23	98	11	13
医学研究科	118	340	458	60	0	160	2,263	325	2,748	16	80
薬学研究科	14	45	59	0	0	19	220	1	240	6	21
工学研究科	1	22	23	0	0	7	141	19	167	4	2
農学研究科	44	55	99	0	4	99	453	259	811	14	32
人間・環境学 研究科	2	7	9	0	0	4	3	0	7	2	3
情報学研究科	3	9	12	0	0	13	30	2	45	2	1
生命科学研究科	1	21	22	0	0	22	121	29	172	6	13
化学研究所	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
ウイルス・ 再生医科学研究所	39	114	153	33	1	33	424	16	473	14	44
複合原子力科学 研究所	14	27	41	2	0	6	89	9	104	4	8
霊長類研究所	79	123	202	102	7	202	819	1,064	2,085	1	28
高等研究院	5	15	20	2	0	8	53	3	64	3	7
iPS細胞研究所	19	153	172	34	1	26	266	3	295	2	26
野生動物研究 センター	8	17	25	0	0	25	128	7	160	2	0
環境安全保健機構 附属放射性同位元素 総合センター	6	18	24	14	0	15	60	0	75	1	3
総合博物館	0	2	2	0	0	1	2	0	3	0	1
国際高等教育院	1	0	1	0	0	1	1	0	2	0	1
合計	376	1024	1400	250	13	660	5164	1770	7594	91	285

主要な飼養保管施設の名称：医学研究科附属動物実験施設、ウイルス・再生医科学研究所附属再生実験動物施設、  
ウイルス再生研動物棟1、霊長類研究所人類進化モデル研究センター、iPS細胞研究所附属動物実験施設

## 動物種ごとの飼養数(年間平均飼養数)(令和元年度)

動物種名	(頭数)																合計			
	文学研究科	理学研究科	医学研究科	薬学研究科	工学研究科	農学研究科	農学研究科	人間・環境学	情報学	生命科学	化学研究所	ウイルス・再生医科学	複合原子科学	霊長類	高等研究所	IPS細胞研究所		野生動物研究センター	放射性同位元素総合センター	総合博物館
マウス	0	122	54,096	9,543	3,325	1,398	23	20	3,272	0	24,248	247	0	1,248	7,650	0	40	0	0	105,232
モルモット	0	0	11	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	11
ラット	0	21	4,138	58	116	17	2	0	0	0	111	3	0	0	1,320	0	0	0	0	5,786
デグー	14	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	14
ウサギ	0	0	111	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	15	0	0	0	0	126
イヌ	0	0	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6
ブタ	0	0	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5
ヒツジ	0	0	0	0	0	85	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	85
ウシ	0	0	0	0	0	111	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	111
サル類 (類人猿除く)	22	0	80	0	0	0	9	0	0	0	43	0	1,172	0	0	0	0	0	0	1,326
類人猿	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	15	0	0	59	0	0	0	74
鳥類	31	227	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	259
爬虫類	4	208	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	212
	71	578	58,447	9,601	3,441	1,612	34	20	3,272	0	24,402	250	1,187	1,248	8,985	59	40	0	0	113,247

## 動物種ごとの使用数(実験動物使用数)(令和元年度)

動物種名	文学研究科	理学研究科	医学研究科	薬学研究科	工学研究科	農学研究科	人間・環境学研究科	情報学 研究科	生命科学 研究科	化学研究科	ウイルス・ 再生医科学 研究所	複合原子力 科学研究所	霊長類 研究所	高等研究院	iPS細胞研 究所	野生動物研 究センター	放射性同位 元素総合 センター	総合博物館	国際高等教 育院	合計
マウス	0	855	109,080	28,599	3,277	9,676	249	0	4,503	0	91,467	1,711	0	10,743	15,225	0	490	0	0	275,875
モルモット	0	0	32	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	32
ラット	0	160	14,158	772	26	400	210	0	44	0	13,788	144	0	21	3,909	0	50	0	0	33,682
デグー	12	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	12
ウサギ	0	0	398	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	15	0	0	0	0	415
ハムスター	0	0	140	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	140
スナネズミ	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
アカネズミ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1
イヌ	0	0	68	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	68
ブタ	0	0	47	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	9	0	0	0	0	56
ヒツジ	0	0	0	0	0	11	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	11
ウシ	0	0	0	0	0	567	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	567
サル類 (類人猿除く)	49	0	119	0	0	0	10	0	0	0	44	0	504	0	9	0	0	0	0	735
類人猿	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	243	0	0	360	0	0	0	603
鳥類	22	17,000	305	0	20	99	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	17,446
爬虫類	3	428	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	431
	86	18,443	124,349	29,371	3,323	10,753	469	2	4,547	0	105,299	1,855	747	10,764	19,167	360	540	1	0	330,076

(頭数)